

2025 年 7 月 20 日 (日)

日本キリスト教団 **久宝教会**

第 68 巻第 14 号 (通算 3451 号)

教会設立 1959 年 6 月 14 日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺 6 丁目 7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう 週報

教会標語

ちい ひと
小さくされている人を
たいせつ きょうかい
大切にする教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切にする神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマ5:5)

せいれいこうりんせつ 聖霊降臨節

だい しゅじつれいはい 第7主日礼拝

れいはい ちゅうけいはいしん
《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂けます》

ぜんそう もくとう ちよさくけんしょうめつ
前奏 (黙祷) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば ふくいんしょ しょう せつ
招きの詞 マタイによる福音書 7 章 1-5 節

さんび か ねんばん ばん いの くち ちよさくけんしょうめつ
賛美歌 1954 年版-308 番「祈りは口より」(©著作権消滅)

せいしよ ながみ せつ
聖書 ヨハネの手紙 II 5-6 節

いの
お祈り

さんび か ばん たいせつ
賛美歌 21-487 番「イエス、イエス」(©JASRAC)

メッセージ「ほんとうに大切なこと」 うしだ ただし ぼくし
牛田 匡 牧師

さんび か ばん しゅ うけい たいせつ
賛美歌 21-542 番「主が受入れてくださるから」(©JASRAC)

しゅ いの ばん てん ちち さんび かかいていいんかい
主の祈り 21-62 番「天にいます わたしたちの父」(©讃美歌改訂委員会)

ささげもの
献げ物 (*)

け ばん かみ めぐ う せつ
派遣 21-91 番「神の恵みゆたかに受け」(1 節のみ) (©JASRAC)

しゅく ふく うしだ ただし ぼくし
祝福 牛田 匡 牧師

こう そう ばん きょうだんさんびかいいんかい
後奏 アーメン コーラス (21-40-6 番) (©教団讃美歌委員会)

ほう こく ページ さんしょう
報告 (4 頁をご参照ください)

せき すわ れいはい さんか
《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

うけつけ けんきんばこ
* 受付に献金箱がございます。

ささげもの けんきん ようい かた ささ
「献げ物 (献金)」はご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 マタイによる福音書 7章 1-5節（聖書協会共同訳）

¹「人を裁^{さば}くな。裁^{さば}かれないためである。²あなたがたは、自分の裁^{さば}く裁^{さば}きで裁^{さば}かれ、自分の量^{はか}る秤^{はかり}で量^{はか}られる。³きょうだいの目にあるおが屑^{くず}は見えるのに、なぜ自分の目にある梁^{はり}に気付かないのか。⁴きょうだいに向かって、『あなたの目からおが屑を取らせてください』と、どうして言えようか。自分の目に梁があるではないか。⁵偽善者よ、まず自分の目から梁を取り除け。そうすれば、はっきり見えるようになって、きょうだいの目からおが屑を取り除くことができる。」

聖書 ヨハネの手紙Ⅱ 5-6節（聖書協会共同訳）

⁵さて、婦人よ、あなたにお願いしたいことがあります。私が書くのは新しい戒^{いまし}めではなく、私たちが初めから持っていた戒め、つまり、互いに^a愛^{あい}し合うということです。⁶愛とは、御父^{おんちち}の戒めに従って歩むことであり、この戒めとは、あなたがたが初めから聞いているように、^b真理^{まこと}の内に歩むことです。

（脚注 a：別訳「愛し合おう」、b：別訳「愛」）



《先週のメッセージより》2025年7月13日 部落解放祈りの日礼拝

「いのちは誰のものか」より

牛田匡牧師

聖書 ヨハネの手紙Ⅰ 5章 13－15節

本日は「部落解放祈りの日」として、あらゆる差別からの解放を覚えて祈り求めていると思う一方で、それとは逆方向に、日本社会も世界情勢もますます分断と差別を助長するような流れになってきていることに胸が痛みます。

「差別」の根底にあるもの、それは不信感であり、不安感でしょう。安心することができずに不安だから、怯えてしまって、周りを攻撃するのだと思います。聖書の中心メッセージの一つは、「恐れるな」「怖がらなくても大丈夫」です。なぜなら、命の神がいつも共におられるからです。神様は、この世界の全て、全ての命を素晴らしいものとして、「極めて良いもの」として創られたと聖書は言います（創世記1）。互いに差別し合い、嫌悪し合っているのは、全ての命が生き生きと輝くことはできません。そもそも私たちの命は、頂いている命であり、生かされている命です。自分のものであるようで自分のものではありません。だからこそ、「良いもの」として創られた全ての命は、互いに大切にしようことができるはずで

す。聖書で言われている「永遠の命」とは、この肉体の死後、時間的にずっと永続していく命という意味ではありません。イエス・キリストの価値観を、自分の価値観として、神様と直接結びつけた「真実の命」を生きることです。そしてそのような人は、自分と他人とを比べて優劣をつけたりすることもなく、互いに掛け替えのない唯一無二の「絶対の命」を与えられている存在として、互いの命を大切にしようとして生きていくことができます。それこそが神様の御心に適うことではないでしょうか。人は自分が経験したことしか、なかなか他者に対してはすることできない不器用な存在です。だからこそ、周りの人たちから大切にされたという経験が先にあってこそ、また自分の過ちを赦してもらったという経験があってこそ、自分も周りの人たちを大切にしたい、その過ちを赦してあげたいという気持ちにつながるのだと思います。

「いのちは誰のものか」。全ての命は神様から与えられた頂き物であり、預けられ委託されている預かり物です。恵みとして頂いているものですから、それを競争の材料にしたり、排斥の材料にしたりするのではなく、隣人たちと共に活かし合い、輝かし合うように、活かし合っていく道へと、私たちは今日も導かれていきます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 2025 年 7 月 13 日

礼拝出席 大人 6 人 子ども 2 人 献金 大人 4,500 円 中継視聴者数 14 回 感謝礼拝後に、釜ヶ崎支援のために 180 個のおにぎりを作り、いこい食堂にお届けし、四角公園にて 100 人超の方々にお渡しすることができました。また今年も手作りの梅干しを献品頂きました。どうもありがとうございました。

- ・ 11 日（金）に退院された さんは、13 日に再び骨折されて再入院され、16 日に手術が行われました。しばらく入院されて加療、リハビリされるとのことです。引き続きお祈りください。

◎次週 2025 年 7 月 27 日（日）聖霊降臨節 第 8 主日礼拝

招きの詞 エレミヤ書 7 章 2-6 節

聖書 マタイによる福音書 18 章 15-20 節

メッセージ 「人間（じんかん）に神ともにいます」牛田匡牧師

賛美歌 こ改-16 番(©出版局)、こ改-132 番(©出版局)、新生-73 番(©JASRAC)

◎お知らせ

- ・ これまでの「週報」や「メッセージ（全文）」はホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分を YouTube でご覧いただくことも可能です。
- ・ 本日 7 月 20 日（日）15 時～17 時にかけて、浪花教会（淀屋橋駅/北浜駅下車徒歩 5-8 分）にて、「2025 年度 関西労働者伝道委員会年度報告会」が開催されます。釜ヶ崎夜回りの報告、年間活動報告、会計報告が行われます。
- ・ 明日 7 月 21 日（月・休）11 時半～14 時にかけて、小阪教会にて、「本格石窯で焼くピザ作り体験交流会」が開催されます。入場無料で、雨天決行です。スペシャルゲストとして、「りこりこばあばの腹話術」も披露されます。どなたでもご参加ください。お問い合わせ・小阪教会へのアクセスは小阪教会のウェブサイトをご確認ください。
<https://www.eonet.ne.jp/~kosakach/>

どなたでも出席できます！
労伝をおぼえて、ぜひご参加ください。

2025年度 関西労働者伝道委員会 年度報告会

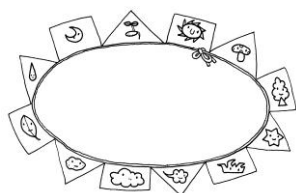
日時：2025年7月20日(日)
午後3時～5時
場所：日本キリスト教団 浪花教会

＜報告会の主な内容＞
釜ヶ崎夜回りの報告、年間活動報告、会計報告
※対面出席のみ

関西労働者伝道委員会とは・・・
1956年1月9日、京阪神地区のキリスト者有志40名によって労働者伝道後援会が結成された。1992年からの専任者：大谷隆夫さん(旧津田教会牧師)と共に歩む会として牧師・信徒有志で活動。2024年3月末、大谷隆夫さんが専任者を辞任された後、関西学院大学神学部よりインターン生を迎え、新しい体制で釜ヶ崎夜回りの活動を開始。毎年1月最終週は「労伝デイ」として、参加者教会（2024年度は25教会）の牧師の交換講壇を行い、労伝の働きを覚える日としている。

教会のアナウンサーへ

関西労働者伝道委員会
(日本キリスト教団 浪花教会内)
TEL：06-6231-4951
E-mail：kansai.rouden@gmail.com

◎次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
7/27	牛田匡牧師	誕生者祝福式
8/3	牛田匡牧師	平和聖日 ユウカリスト
8/10	牛田匡牧師	
8/17	牛田匡牧師	

美味しいひとときを味わおう！
本格石窯で焼くピザ作り体験交流会

2025年7月21日(月・休)
11:30～14:00 雨天決行
会場 小阪教会(入場無料)

スペシャルゲスト
りこりこばあばの腹話術
ある牧師の腹話術を見て憧れ始めました

感染症・暑さ対策として
・手指消毒を徹底します。
・屋外にミスト噴霧します。
※ピザ生地の数に限りがあります。

主催・問い合わせ 日本基督教団 小阪教会
(牧師・中谷さん)
〒577-0802 東大阪市小阪本町2-6-26 TEL 06-6722-6025
<http://www.eonet.ne.jp/~kosakach>

当教会は世界平和統一家庭連合(旧統一協会)、エホバの証人、モルモン教等のカルト集団とは一切関係ありません！

